

山 元 町 仮設住宅数:913戸(11団地) 民間借り上げ住宅契約件数:70件 ※2013.3.1現在				
		生活支援相談員	復興支援CO	サポートセンター事業
委託元(担当課)		被災者支援室		山元町地域包括支援センター
予算		社会的包摂・「絆」再生事業		地域支え合い体制づくり事業
人数		14人 (臨時職員)	3人 (正規1人、臨時2人)	訪問:3人(保健師、看護師) サロン＆配食:7人(栄養士、看護師、介護員)
委託先		山元町社協 (やまもと復興応援センター配属)		訪問:地域包括支援センター直轄 サロン＆配食:(社福)静和会
担当エリア		・町内仮設住宅 ・町内外みなし仮設住宅 ・その他、町内	町内全域	・町内仮設住宅(みなし仮設住宅を含む) ・津波浸水地区
活動内容	仮設住宅	・戸別訪問による見守りと寄り添い ・住民が抱える問題を解決へとつなぐ ・民生委員、役場などとの連携 ・週1回のお茶っ子サロン実施、「お茶っ子通信」発行 ・住民主催イベントの手伝い ・仮設集会所利用スケジュール管理及び支援調整 ・その他のコミュニティ形成支援	旧災害VCの活動となるボランティア班担当 (主な活動) ・畑ガレキ除去、個人宅清掃 ・側溝上げ ・イチゴ農家支援 ・町内引っ越し ・ボランティア団体との活動連携	・保健師や看護師による支援の必要な高齢者訪問 ・中山熊野堂仮設住宅集会所を使ったサロン事業(おおむね65歳以上対象ー約40人が利用) ・おおむね65歳以上対象に配食サービス(300円／食、昼食のみ)を週2回実施(7月現在41人が利用)
	みなし仮設	・はがきによる安否確認と電話と訪問による寄り添い		保健師や看護師による支援の必要な高齢者訪問
	在宅	・住民主催サークルやイベントの手伝い、協力		
	共通	・4月より町との協働で毎月「ヨツクロ新聞」発行し、町の広報誌と同送し、全仮設住宅(みなし仮設を含む)町外避難世帯に配付		
その他 (連携状況等)		・毎月最終火曜日「山元町応急仮設住宅等連絡会」が開催されている。 行政からの連絡や住民からの要望に対するやり取りなどについても話し合いを実施。 この連絡会で決められたことを元にやまもと復興応援センターで支援調整を行なっている。 ＜連絡会構成メンバー:役場、民生委員、仮設住宅行政連絡員(住民代表8名)、警察署、消防署、社協＞ ・災害ボラ関係は、5月に「町・社協・主要なボラ団体2団体」で今後の活動について協議し、6月より随時「社協・ボラ団体」の情報交換会を実施 ・毎月開催されている民生委員協議会にも必要に応じて、生活支援相談員が参加し、情報交換を行なっている。		

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
 みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com